

県議会 おおいた

No.127

大分県議会
令和4年8月発行

さとう わか
題字は、大分県立大分南高等学校3年佐藤 和夏さんの作品です。



政策勉強会

就任のごあいさつ



大分県議会副議長

こてがわ まさはる
古手川 正治

この度、第102代大分県議会副議長に就任いたしました津久見市選出の古手川正治です。

2020年に国内で感染が確認された新型コロナウイルス感染症は世界的なパンデミックをもたらし続けています。また今年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻により、地政学的リスクが高まるなど、世の中が大きな転換期にあります。

ウィズコロナを見据えた感染症対策と社会経済再活性化、急激な円安などによる燃料や食糧等の価格高騰、また、少子高齢化・人口減少対策、災害に強い県土づくりなど多くの課題があります。

二元代表制の一翼を担う県議会は、アンテナを高くして国内外・県内外・地域の動向や住民の皆さんのご意見とそこにある思いをすくい取り、よりよい県政の実現に向けて県執行部と切磋琢磨することが期待されています。議長の補佐役として、県議会の政策提言、広報活動、デジタル化などに力を入れて議会のさらなる活性化に力を入れてまいります。

県民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

令和4年第2回 定例会

6月14日から6月29日までの16日間、開催しました。

開会後、御手洗議長による諸般の報告に続き、令和4年度大分県一般会計補正予算案等の議案が提出され、知事が提案理由を説明しました。当日は副議長の辞任に伴う選挙が行われ、第102代副議長に古手川正治議員が選任されました。

6月20日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、執行部と活発な議論を行いました。

また、常任委員会を6月23日、24日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。第2回定例会では、知事提出議案16件、議員提出議案8件について可決・承認・同意し、閉会しました。

今議会から、資料を各議員がタブレットにより閲覧しながら議論する等、県議会のデジタル化がまたひとつ進展しました。

各議員名欄にあるQRコードから、そのほかの質問を含めて、動画でご覧いただけます。

一般質問

6月20日(月)



自由民主党
おおとも えいじ
大友 栄二 議員



「デスティネーションキャンペーン」に向けた今後の取組

問 JR各社が取り組む国内最大級の観光イベント「デスティネーションキャンペーン(DC)」の令和6年度本県開催が決定されたことに、観光産業復活の起爆剤として大いに期待しております。

共同開催地である福岡県との連携や鉄道が通っていない地域とのイベントの関連づけが重要だと思いますが、今後の取組について知事の見解を伺います。

答 DC成功に向けては、次の三つのポイントが重要です。

一つは、大分・福岡連携による新たな旅の提案です。両県の特徴や魅力を余すことなく一体として届ける様々な取組を通じて、新たな周遊ルートを開発し、域外からの観光客の呼び込みと地域の魅力再発見の機会とします。

二つは、ポストコロナを見据えた新たなステージへの挑戦です。自然体験型コンテンツの開発や電動キックボードを活用した周遊コ

ースづくりの実証実験、複合的な交通対策などの取組により「おんせん県おおいた」に一層の魅力を添え、旅の高付加価値化を促進し、持続可能な観光の実現を目指します。

三つは、地域への愛着を育むおもてなしの実現です。誰もが地域への愛着を抱き、再び訪れたいと感じる「県民総参加のおもてなし」に取り組みます。

「デスティネーション

キャンペーン」

JRグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーンのこと。



県民クラブ
たに のりお
田谷 武男 議員



太陽光発電施設の環境面への配慮

問 県内でも多くの太陽光発電施設が設置されたことに伴い、住民とのトラブルも増加しているようです。

県が県民や企業と一体となってカーボンニュートラルへの取組を加速していくためにも、施設の設置だけではなく、維持管理、更新、

廃止といった面においても、県の関与が必要であると考えますが、現状の取組と今後の課題について伺います。

答 再生可能エネルギーの導入促進に向けては地域の理解を得て共生していくことが重要であることから、太陽光発電所については、環境影響評価条例の対象施設を拡大し、施設の維持管理、更新、廃止については、景観や廃棄の他、濁水や反射光対策等への配慮を求めています。

事業内容については、説明会等を通じ、地域の理解を十分得るよう指導しています。

加えて、条例の対象規模未満の発電所についても、県の指針に基づき、自主的に環境への配慮を行うよう事業者に求めています。

また、発電施設等の維持管理体制などについては、事業者に対し各種関係法令の遵守を求めており、本年4月からの国の省庁横断的な検討の動向についても注視してまいります。

「カーボンニュートラル」

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする目標を宣言。



自由民主党
きよた てつや
清田 哲也 議員



巨大地震への防災・減災対策

問

政府の地震調査委員会では先ごろ、日向灘や鹿児島県から台湾まで及び南西諸島海溝で、新たにマグニチュード8クラスの巨大地震が起き得るとする長期評価を公表しました。

切迫する南海トラフ地震などの巨大地震に立ち向かうためには、防災の3要素「自助・共助・公助」の強化をこれまでに加速させる必要があります。今後の巨大地震への防災・減災対策について知事の見解を伺います。

答

突然発生する地震に備え、地震・津波防災アクションプラン等に基づき、ハード・ソフト両面から対策を講じていくことが重要であると考えています。

ハード対策では、県経済の要である大分コンビニートの護岸強化をはじめ、災害発生時に「命の道」となる広域道路ネットワークの整備や、緊急輸送道路の橋梁耐震補強、住宅の耐震化支援などに取り組んでいます。

ソフト対策では、テレビCMやSNS等を活用した広報の実施、自主防災組織や高齢者施設入所者の避難訓練の支援に取り組みます。

今後は、被災市町村の災害応急対策が迅速かつ的確に実施できるよう、広域受援計画の未策定市町村の計画づくりの後押しや、防災行政の高度化を目指します。

〈南海トラフ〉

日本列島の南方の海底を、東海地方から紀伊半島、四国、九州近辺に至るまでに渡って走っている深い溝のこと。概ね100～150年間隔で繰り返し巨大地震が発生。現在は前回発生から70年以上経過している。



日本共産党
つづみ えいそう
堤 栄三 議員



中小事業者対策

問

「新型コロナウイルス」と「ロシアによるウクライナへの侵略戦争」や「アベノミクス」の「異次元の金融緩和」によってつくられた異常円安による物価や輸入品の高騰の影響で、経営が厳しく廃業せざるを得ない事業者が多く出ています。

中小事業者向けの物価高騰対策資金として、無利子融資制度や固定費補助などを創設すべきではありませんか。知事の見解を伺います。

答

長引くコロナ禍の中、本県では様々な中小企業対策を講じたことで、企業倒産件数も全国と比べ低水準で推移していますが、新たな物価高騰要因による経済活動の下押し圧力を踏まえ、引き続き金融緩和による支援に力を入れる必要があります。

国では、政府系金融機関による無利子・無担保融資を9月末まで延長しました。県においても、保証人が原則不要の制度資金に1千億円の新規融資枠を設け、低利資金のメニューを複数用意して、県内事業者からの相談に対応しています。

他方で、今後は、経済を正常化する方向へとシフトしていく必要があるため、県では、発行規模130億円（予定）のプレミアム商品券事業の第二弾等を実施することで、消費の活性化を通して、事業者の売上回復や価格転嫁を後押しし、コストの上昇に苦しむ県内事業者を支援していきます。

〈中小企業・小規模事業者のための大分県融資制度〉

資金調達の円滑化を図るため、各種制度資金を運営。

詳細は下記のQRコードからご参照ください。



6月21日(火)



県民クラブ
たかはし はじめ
高橋 肇 議員



今後の認知症政策

問

臼杵市のように認知症に関する条例を制定している自治体は、今年の4月1日現在で全国に1県17市区町あり、国会でも自治体に対し認知症施策に関する計画の策定を促す規定が盛り込まれた認知症基本法案が提出されています。

こうした動きを踏まえ、県でも「認知症フレンドリー社会」の実現を目指して、条例制定を含めた取組を進めることが大切であると考えますが、認知症対策について知事の見解を伺います。

答

本県においては、認知症施策について、次の二つを柱に取組を進めています。

一つは、認知症への理解を深める普及啓発と社会参加の促進です。認知症への理解促進や見守りに欠かせない役割を担っている「認知症サポーター」の養成、認知症の方2名に委嘱した「大分県希望大使」による普及啓発、認知症の方やその家族が地域とつながる場である「オレンジカフェ」の取組を通じた、認知症の方への社会参加

の機会提供を行っています。

二つは、認知症予防です。認知症の発症及び進行の緩和に効果的とされる、運動不足の改善や社会参加による孤立の解消などを促進するため、身近な高齢者サロン等の通いの場の充実に取り組んでいます。また、日頃のセルフチェックも重要であり、フレイルチェックシートの積極的な活用を促しているところです。

〈フレイル〉

加齢とともに、体や心の働き、社会的な繋がりが弱くなった状態。そのまま放置すると、要介護状態になる可能性がある。



自由民主党
あべ ながお
阿部 長夫 議員



ベリーツ栽培の現状と

今後の見通し

問

県域での加速度的な産地拡大が見込める品目として選定された、ベリーツの更なる拡大に向けては、生産技術の高度化、知名度単価の向上などの課題をクリアするとともに、調製作業を外部化するパッケージセンター創設の取組を全県域に広げていく必要がある

と考えますが、ベリーツの現状と今後の拡大に向けた方策について伺います。

答

短期集中県域支援品目に認定し、重点的に支援しているベリーツの目標達成には、更なる生産性向上の取組は欠かせません。昨年度から取り組んでいるハウス内の環境改善の実績を踏まえ、高単価期の収量増加や大玉化、食味向上などの課題を克服するため、適正な施肥や管理作業の手順など緻密な生産技術の普及拡大を進めます。

また、高単価が期待できるギフトアイテムの出荷比率向上や、新たな規格ドルチェの販売に取り組んだ結果、3月までの目標単価1,500円を達成しました。

さらに、本年度はパッケージセンターの整備を杵築市などで計画しており、主要な産地で作業の分業化体制が整うこととなり、規模拡大や品質向上が見込めます。

ベリーツ



公明党
とだか けんじ
戸高 賢史 議員



カーボンニュートラルの達成に向けたエコエネルギーの導入等

問

県では、「大分県新エネルギービジョン」において、エコエネルギーの付加価値の高い利用の促進や、本県の特性である九州唯一のコンビナートから発生する副生水素をいかした水素サプライチェーンの構築を目指すとともに、自然環境・景観との調和や地域との共存共栄の一層の徹底を図ることとされています。

カーボンニュートラルの達成に向け、エコエネルギーの導入等について今後どのように進めていくのか、知事の見解を伺います。

答

大分県新エネルギービジョンに基づき、大きく三つの取組により、エコエネルギーの導入等を進めていきます。

一つは、「グリーン水素」とも呼ばれ、世界でも注目されている水素の利活用です。貯蔵・運搬も含めた水素製造の検証事業を行うとともに、二酸化炭素排出量の多いコンビナートを中心とした熱需要のグリーン化の推進のため、本年4月には長期的なビジョンとアクションを検討する「ものづくり

未来会議おおいた」を立ち上げました。

二つは、地熱や太陽光等再生可能エネルギーの導入です。必要に応じた住民説明の要請や合意形成の指導を事業者へ行うとともに、地形や水の状態などの調査等が必要で

最後は省エネルギーの推進です。省エネコーディネーターによる企業訪問等を着実に続けていきます。

〈副生水素〉

大分コンビナートで副次的に発生する水素量は全国の約1割程度を占める。



自由民主党
おつみ ゆたか
鴛海 豊 議員



ねぎ100億円プロジェクト

問

昨年末に公表された本県の農業産出額は4年ぶりに上昇に転じ、ねぎ類は78億円と、県が推進する「ねぎ100億円プロジェクト」の目標まで近づいてきました。

目標の達成には、農家がやる気を持てる価格、所得の形成が必要だと考えますが、県としてどのような取組を行っていくのか知事の見解を伺います。

6月22日(水)

答 白ねぎの安定した市場価格の確保は、生産意欲の向上に大変重要であり、次の三点に重点的に取り組みます。

一つは、生産拡大を踏まえた新たな取引先の獲得です。市場シェアを高めてきた九州・関西において、サンプル提供や販売支援を強化することで、取引先の拡大を図ります。また、中京圏では拠点市場に影響力のある方を新たに白ねぎ販路開拓アドバイザーに委嘱しました。

二つは、消費地での需要の喚起です。大手食品メーカーとのコラボメニュー開発や、大消費地の飲食店との白ねぎを食材とした大分メニューフェアの開催によって、消費拡大を促進します。

三つは、高い品質の維持です。巡回指導の徹底や新たな実践研修の実施、拠点市場での品質評価の生産者へのフィードバックによって、生産技術の向上をしつかりと支援します。

産地連携キャンペーン
名古屋駅前チカマチラウンジ



自由民主党
衛藤 博昭 議員
えとう ひろあき



国道197号バイパス

問 物流ネットワークを形成する幹線道路としての役割をもつ国道197号バイパスは、朝夕の通勤時間帯で著しい渋滞がみられております。

知事が昨年要望された、中九州横断道路の犬飼宮河内間の早期事業化は、物流ネットワーク形成を見据えたものですが、このような渋滞が整備効果発現に対する阻害要因になる懸念があります。

197号バイパスの渋滞状況の把握と今後の整備の方向性について伺います。

答 渋滞状況の把握については、近年は、朝夕の時間帯を中心に、流通業務団地入口や毛井交差点付近における渋滞や速度低下の発生を、ETCのビッグデータにより把握しています。

渋滞対策については、国や県、大分市などで構成する協議会において、そのあり方を議論しながら面的に対策を講じてきました。

現在は、国道10号高江拡幅や197号鶴崎拡幅、都市計画道路庄の原佐野線などの整備を鋭意進

めています。

国道197号バイパスについては、東九州自動車道の4車線化や中九州横断道路の接続などを考慮した、中長期的な交通予測を踏まえ、整備の方向性を見定めることが肝要です。今後とも、協議会において市内全域の道路ネットワークのあり方と一体的に検討してまいります。

乙津橋の渋滞風景
国道197号の鶴崎拡幅（4車線化）によって、慢性的な渋滞解消に着手



県民クラブ
成迫 健児 議員
なりさこ けんじ



地域共生社会の実現

問 人口減少が著しい今の時代、公的な福祉サービスだけに頼るのではなく、地域に暮らす人たちが共に支え合い、課題を解決する力を再構築しようという地域共

生社会の考え方が重要です。

地域共生社会の実現に向けて、今後県としてどのように取り組んでいけるのか、知事の見解を伺います。

答 県では、「地域福祉基本計画」に基づき、次の三つを柱として取組を進めています。

一つは、多世代交流活動の推進です。多世代が集う共生の場づくりを各地で展開できるよう、活動拠点の整備や、コロナ禍においても交流活動を継続できるよう、オンライン開催の初期費用等を支援しています。

二つは、住民自らがボランティアとして参加する支え合い活動の推進です。住民組織が生活のちよつとした困り事を安価で引き受ける「住民参加型福祉サービス」の取組が、各地で展開されるよう、活動組織の立ち上げ等を支援します。

三つは、地域や住民活動を支える人材の確保・育成です。住民の協働意識の醸成や、地域課題解決のコーディネートを行う「地域力強化推進員」の育成、また大分大学を拠点とした多様な人材によるネットワークを構築し、多世代交流活動等への支援を行うとともに、好事例の横展開を進めてまいります。



自由民主党
後藤 慎太郎 議員
ごとうしんたろう



今後の動物愛護の取組

問 動物愛護センターの更なる活用や県と市町村との連携も含めて、殺処分頭数を減らしていくための今後の取組について、お聞かせください。

併せて、6月施行の改正動物愛護法により、ペット店などで販売する犬や猫へのマイクロチップ装着が繁殖・販売業者に義務付けられました。今後どのように指導・徹底していくのか伺います。

答 殺処分数を減らすためには、適正飼養の徹底と愛護精神の普及を図り、県が引き取る犬猫を減少させることが重要です。

動物愛護センターによる、小中学生等への動物愛護教育の実施や、所有者不明の猫の不妊去勢手術と術後は地域で世話を行う「さくら猫プロジェクト」の実施によって、殺処分数は2年度の1,183頭から半減し、3年度は572頭になりました。

今年度からは愛護教育を行う職員を2名に増員し、動物愛護教育の実施回数を増やすなど教育プログラムをより充実させるとともに、「さくら猫プロジェクト」に参加

する市町村を増やしていきます。

マイクロチップの装着については、義務化以前から研修会等で周知してまいりましたが、今後は、定期的に行っている施設への立入りの際に、装着状況を帳簿等で照合するなど指導を徹底してまいります。

風景で犬の保護
動物愛護センターの授業「いのちの引き取られた動物と子供たちの交流」



県民クラブ
馬場 新 議員
ばばしんや



教員不足への対応

問 近年、教員の欠員が課題となっており、本県においても、教員の欠員状況は年々増加する傾向にあります。

教育免許更新制が7月で廃止されますが、既に免許を失効された方の復帰を促すためにも、更新制廃止に伴う諸手続などの周知徹底も必要ではないでしょうか。

また、欠員が出る原因をどのようにに捉え、教員の確保に向けてどのようにに取り組んでいるのか伺います。

答 欠員の原因としては、少子化等の影響による大学教育学部

の定員減少や、教員が大量退職期を迎える中、全国的に教員確保が厳しい状況となっていることが考えられます。

本県では、教員の確保に向けた受験しやすい環境づくりのため、1次試験免除の拡充や、2次試験の口頭試問の廃止、他県教諭特別選考の受験資格緩和といった策などを講じています。

また、退職者の再雇用に向けた環境整備のためには、再任用校長や再任用指導主事制度の導入をはじめ、退職予定者の意向確認時期の早期化等に取り組んでおり、今後の定年引上げへの対応も検討しています。

さらに、本県における教員の養成・輩出に大きな役割を担っている大分大学と連携し、国にも要望した結果、来年度入試から教育学部定員の増員が予定されています。なお、教員免許法の改正については、ホームページや広報紙などにより周知徹底を図っていきたいと考えております。

可決された議案（議員提出）

○意見書（8件）

▽原油等価格の高騰対策を求める意見書

▽飼料価格の高騰対策を求める意見書

▽水田活用の直接支払交付金の見直しについて柔軟な対応を求める意見書

▽環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の更なる推進を求める意見書

可決・同意・承認された議案等（知事提出）

○予算（1件）

▽令和4年度大分県一般会計補正予算（第1号）

○条例関係（8件）

▽大分県使用料及び手数料条例の一部改正について

▽水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正について

▽大分県病院事業に係る料金条例の一部改正について

○人事（3件）

▽副知事の選任について

○その他（1件）

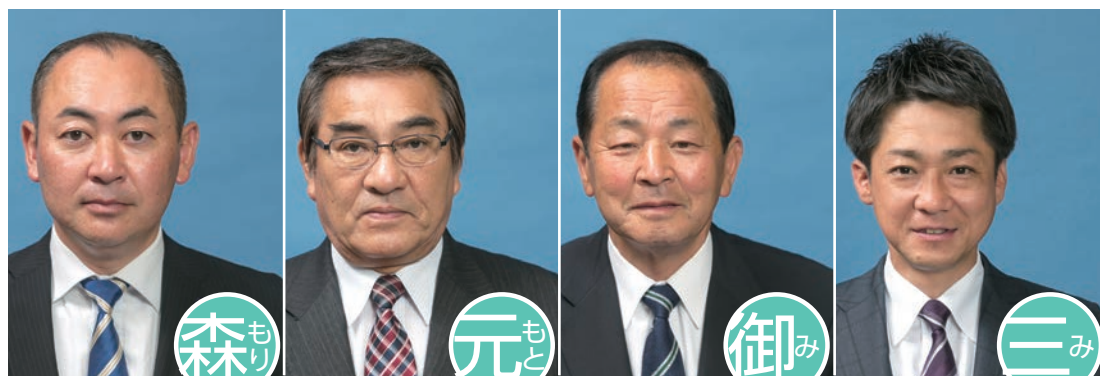
▽県有地の売却について

○報告（3件）

▽令和3年度大分県一般会計補正予算（第14号）について

議員 フォーカス 第5回

県民の皆さまに県議会議員の「人となり」を知っていただき、議会を身近に感じていただくこと、趣味等を紹介するコーナーです。第5回は7名の議員を紹介します。



浦正臣 自由民主党 日出町

浦正臣 最近はまっていること ご教授いただきながら米作りを始めて6年、農業の奥深さと苦労や楽しさを実感中です。
休日の過ごし方 中学生の息子が所属する野球チームの応援に励んでいます。

手洗吉生 自由民主党 佐伯市

手洗吉生 趣味 私のセカンドハウスは自宅から徒歩200歩の場所に在る農場倉庫です。流れる汗は私の清涼剤です。
モットー 誰よりも自分が動き、汗をかくこと

吉俊博 自由民主党 宇佐市

吉俊博 趣味 海釣り、スキューバダイビング（最近は何てない）。
最近ハマっていること 庭づくり、小鳥飼育、熱帯魚鑑賞

誠一 自由民主党 豊後大野市

誠一 趣味 神楽。20年以上稽古を重ねていますが、奥が深くまだまだ精進が必要です。
座右の銘 「飲水思源（水を飲んで源を思う）」先人のご苦労に想いをはせ、常に感謝の気持ちで行動していきます。

県議会 おおいだ



今号の表紙の題字を作成していただいた

大分南高校 佐藤 和夏さんの所属する書道部の皆さんの部活動の様子をご紹介します！



永信幸 県民クラブ 大分市

永信幸 最近ハマっていること 数年前、娘が手懐けたノラ猫。飼い始めた途端、家の押入で4匹出産。家族ぐるみではまってお世話しています。
尊敬する歴史上の人物 南原繁氏の日本国憲法制定時の議論の姿勢。そして議論の後制定した憲法を尊重しようとする姿勢は敬服すべきものがあります。

竹悟 自由民主党 竹田市

竹悟 好きな音楽 風・グループ・大塚博堂・シブナルなど青春時代に聞いた曲を今でも歌っています。
趣味・特技 時間があれば食材を仕入れ料理をしています。

村哲彦 公明党 大分市

村哲彦 好きなスポーツ 陸上競技のトレーニングを少し続けています。今年はレースに出ることが目標です。
中学生の指導にも取り組んでいます。
座右の銘 「一心血、人の千倍」
大好きな言葉で、私の支えになっています。

常任委員会の活動状況

総務企画委員会

《委員会の開催状況》

6月24日に委員会を開催。

(付託案件)

○議案(5件)

・大分県税条例の一部改正について ほか

○報告(3件)

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第14号)について

・大分県税条例等の一部改正について ほか

《県内所管事務調査》

5月11日から30日にかけて実施しました。

高齢者や障がいのある方が、住み慣れた地域で楽しく暮らしていくことを支援する「みんなのえがおプロジェクト」を立ち上げた在宅支援クリニクえがおの山内代表からえがお弁当の取組等のお話を伺ったほか、市町村が設置する窓口としては県内初となる宇佐市外国人総合相談センターなどを調査しました。



県内所管事務
調査詳細

福祉保健生活 環境委員会

《委員会の開催状況》

6月23日に委員会を開催。

(付託案件)

○議案(3件)

・大分県病院事業に係る料金条例の一部改正について ほか

○報告(1件)

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第14号)について

○請願(1件)

・犬猫の殺処分における安楽死を求めることについて

《県内所管事務調査》

5月25日から31日にかけて実施しました。

緊急災害時の給水拠点確保と水道水の安定供給を可能とするため、施設の耐震化工事等に着手している中津市三口浄水場の浄水施設や、平成31年2月に開館したおおい動物愛護センターなどを調査しました。



県内所管事務
調査詳細

商工観光労働 企業委員会

《委員会の開催状況》

6月24日に委員会を開催。

(付託案件)

○議案(2件)

・令和4年度大分県一般会計補正予算(第1号)について ほか

○報告(1件)

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第14号)について

《県内所管事務調査》

5月12日から31日にかけて実施しました。

伝統的な製法によるシングルモルトウイスキーを製造するとともに、製造工程で生まれる廃棄物を肥料に還元する循環型ビジネス(第19回大分県ビジネスグランプリ優秀賞受賞)に取り組んでいる有限会社津崎商事や、宇宙・スペースポートをキーワードに宇宙関連産業の創出や人材育成等に取り組んでいる一般社団法人おおいスペースフューチャーセンターなどを調査しました。



県内所管事務
調査詳細

えがお弁当



宇佐市外国人総合相談センター



中津市三口浄水場



動物愛護センター



有限会社津崎商事



一般社団法人おおいスペースフューチャーセンター



大分県議会では6つの常任委員会を設け、所管する各部局に関する事項の審査や調査などを行っています。「委員会」は少数の議員で、県の仕事を部門ごとに分担して受け持ち、詳しく調べて本会議に報告する役割があります。

農林水産委員会

《委員会の開催状況》

6月23日に委員会を開催。

(付託案件)

○議案(1件)

・令和4年度大分県一般会計補正予算(第1号)について

○報告(1件)

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第14号)について

○継続請願(1件)

・コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策の意見書の提出について

《県内所管事務調査》

5月11日から6月3日にかけて実施しました。

農地の集積、集約化を図ることで効率化や低コスト化を実現し、年間1千万円近い利益を上げている農事組合法人蜷木営農や、大分味一ねぎの産地である国東市において令和2年度に建設されたJAの大分味一ねぎ東部パッケージセンターなどを調査しました。



農事組合法人蜷木営農



東部パッケージセンター

土木建築委員会

《委員会の開催状況》

6月23日に委員会を開催。

(付託案件)

○議案(1件)

・大分都市計画事業大分臨海工業地帯大在土地区画整理事業に関する条例の廃止について

○報告(1件)

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第14号)について

《県内所管事務調査》

5月10日から6月3日にかけて実施しました。

県内各地の土木事務所を訪問し、職員配置や各事業の概要等について説明を受けるとともに、地域毎の課題に応じた現地調査を行いました。

大分市では、自動車交通量が多く、慢性的な渋滞が発生していた国道197号の鶴崎拡幅道路改築事業、竹田市では治水効果が見込まれる玉来ダムの竹田水害緊急治水ダム建設事業などを調査しました。



国道197号鶴崎拡幅



玉来ダム建設事務所

文教警察委員会

《委員会の開催状況》

6月24日に委員会を開催。

(付託案件)

○議案(2件)

・大分県立学校職員及び大分県町村立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について
ほか

○報告(1件)

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第14号)について

《県内所管事務調査》

5月10日から31日にかけて実施しました。

知的障がいのある生徒に向け、企業への一般就労を目指した職業教育を行う特別支援学校として本年4月に開校した大分県立さくらの杜高等支援学校や、令和3年度GIGAスクール構想推進校として、デジタル教科書の効果的な活用の研究を行っている豊後大野市立緒方小学校などを調査しました。



さくらの杜高等支援学校



緒方小学校

《議員出前講座》

県議会では、県内の小中高校や大学等に出向き、議員が講師となつて、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などを説明する議員出前講座を行っています。

6月10日は佐伯市立切畑小学校に、7月19日は県立芸術文化短期大学に議員が訪問し、講座を開催しました。「ぼくも選挙に参加して議員になつてみたい」など、様々な感想が子供たちから寄せられました。



7月19日 芸術文化短期大学



6月10日 切畑小学校

《政策勉強会》

県議会では、地方議会が有する監視機能と政策立案機能をより一層発揮するため、政策勉強会を開催しています。

6月の政策勉強会では、富士通株式会社シニアエバンジェリストの武田幸治氏を講師にお招きし、「事例から学ぶデジタルトランスフォーメーション」と題し、ご講演をいただきました。（表紙写真）

《台湾との交流》

6月22日に台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長をお招きし、今後の世界情勢や、日台の友好関係について興味深いお話を伺いました。



《議会ロビーでの展示》

◇風景写真展
（6月13日～6月29日）

日本風景写真協会大分支部の会員が由布川峡谷や県民の森をはじめ、九州各地で撮影した風景写真10点を展示しました。



《広報委員会》

第1回広報委員会では、令和3年度広報事業実績及び令和4年度広報事業計画等について協議しました。

（主な決定事項）

・出前県議会

開催時期…9月28日

出張おんせん県議会

若者DAY

開催時期…10月～11月

開催校…別府大学



令和4年度の広報委員会メンバー

《県議会今後の動き》

第3回定例会の日程（予定）

9月7日（水）開会

13日（火）本会議

14日（水）（代表質問）

16日（金）本会議

20日（火）（一般質問）

21日（水）常任委員会

27日（火）閉会

27日（火）閉会

27日（火）閉会

27日（火）閉会

27日（火）閉会

27日（火）閉会

27日（火）閉会

議員出前講座
開催校募集中！

議員が講師として学校に出向き、県議会の仕組みや議員の活動についてわかりやすく説明します。

開催をご希望の学校担当者は、下記連絡先までご相談ください。

【連絡先】
議会事務局政策調査課
電話：097-506-5035



大分県議会公式ツイッター (@oitakengikai)

本会議や委員会、広報活動など、議会の活動について発信していきますので、ぜひご覧ください！

点字版・音読版
「県議会おおいだ」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成・配付しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。

県議会ホームページでは

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

◇お問い合わせは県議会事務局まで

【総務課】議会庶務、情報公開など

TEL 097-506-5019

【議事課】本会議、常任委員会、傍聴など

TEL 097-506-5022

【政策調査課】調査業務、議会広報など

TEL 097-506-5035